

令和6年(2024年)3月19日

関係大学長
関係機関長 様

名古屋市立大学大学院人間文化研究科長
野中 壽子(公印省略)

教員の公募について(依頼)

このたび、本研究科では下記の要領で教員を公募いたします。
つきましては、この旨を関係学部・大学院等に広くお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属 名古屋市立大学大学院人間文化研究科(人文社会学部心理教育学科)
2. 職名・人員 准教授または講師 1名
3. 専門分野 発育発達学
4. 担当予定科目 大学院:「課題研究科目」「身体機能発達研究A」「身体機能発達研究B」
「人間・社会研究特別演習」「人間発達論特殊講義」
人文社会学部:「保育内容演習(健康)」「保育内容演習2(健康)」「身体表現1・2」
「特別支援教育1・2」「ESD科目(オムニバス)」「基礎演習(オムニバス)」「発展演習(オムニバス)」「専門演習1・2・3・4」「卒業論文」
教養科目:「健康・スポーツ実技」
5. 応募資格 以下に挙げる要件を全て満たす者。
(1)博士の学位を有する者。またはこれと同等の研究業績を有する者。
(2)発育発達学が専門で、特別支援教育も担当できる者が望ましい。
(3)教養科目「健康・スポーツ実技」を担当できる者。
(4)持続可能な社会の実現(sustainable development)という課題に関心があり、本学でのESD、SDGsに関係する諸活動を推進していく意欲を有する者。
(5)文部科学省の教職課程認定(再課程認定を含む)において「保育内容(健康)」「特別支援教育」の教員審査に合格しているか、審査に合格するだけの過去10年以内の十分な業績を有し、保育者養成課程の運営に熱意がある者。
(6)採用後は、名古屋市またはその周辺に居住できる者。
6. 採用予定日 令和7年(2025年)4月1日
7. 応募期限 令和6年(2024年)5月31日(金)(必着)
8. 提出書類 (1)履歴書(別紙様式によるA4判)
最終学歴を証明する公的文書のコピーを添付すること
(2)研究業績目録(別紙様式によるA4判)
著書・論文などのうち主要なもの5点以内(修士論文は除外、博士論文は含む)に
○印をつけること(連載論文はまとめて1点と数えること)

- (3)応募必要事項記入用紙（別紙様式による A4 判）
- (4)研究業績目録で○印をつけた 5 点以内の著書・論文等の概要（様式自由、1 点ごとに A4 判 1 枚で日本語 400 字以内の要約を作成すること）
- (5)研究業績目録で○印をつけた 5 点以内の著書・論文の原本または抜き刷りまたはそのコピーを各 1 部
- (6) ①保育者養成の抱負について、②「保育内容（健康）」あるいは「特別支援教育」の授業シラバス（各 A4 判 1 枚程度、様式自由）

*上記 (1) ～ (6) の書類一式と、(1) (2) (4) (6) のワードファイルと PDF ファイル、(3) のエクセルファイルを収めた USB メモリを同封してください。なお(5)についても可能な範囲内で、PDF ファイルを USB メモリに入れてください。

- 9. 提出先 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1 番地
名古屋市立大学大学院人間文化研究科長 宛
（なお、提出書類は、〔簡易書留〕で郵送、またはそれに類する方法で送り、封筒に「発育発達学教員応募関係書類」と朱書きすること）

- 10. 照会先 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
照会は原則として e-mail でお願いします。
(e-mail : recruit_hatsuiku@hum.nagoya-cu.ac.jp)

- 11. その他 (1)提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信用切手を貼り返送先を記した封筒を同封してください。
(2)選考の最終過程で面接を実施します（面接時の旅費支給は行いませんので、ご了解ください）。
(3)採用予定者となった場合には、名古屋市立大学病院で健康診断を受けていただきます。
(4)「履歴書」「研究業績目録」「応募必要事項記入用紙」の別紙様式 A4 版は、「JREC-IN Portal」の当該求人公募情報のページ、または、人間文化研究科ホームページからダウンロードして下さい。
(5)名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、教員の採用、昇任においては、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用し、昇任させます。
(6)本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員には、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。
(7)本学の教員の定年は、満 65 歳です。